

## 令和6年度安全投資計画

安全投資名目	数量	単価	金額
先進安全機能搭載新型車両導入(大型)	3 台	47,000,000	141,000,000
IP無線導入	50 台	70,000	3,500,000
脳ドック検査	10 名	20,000	200,000
車両消火訓練・応急救護講習受講	35 名	1,700	59,500
乗務員健康診断（春秋の年2回）	47 名	12,000	564,000
運転適性診断	11 名	4,800	52,800
乗務員SAS検査	15 名	7,130	106,950
安全運転技能実習	10 名	2,000	20,000
社内雪上研修	10 名	5,000	50,000
中央研修所(3泊4日)	4 名	118,300	473,200
			142,326,450

## 結果

数量	単価	金額
8 台	47,000,000	376,000,000
57 台	49,000	2,793,000
43 名	20,000	860,000
0 名	1,500	0
46 名	12,000	552,000
42 名	4,800	201,600
6 名	7,130	42,780
9 名	2,000	18,000
9 名	5,000	45,000
4 名	118,300	473,200
		377,332,580



次年度に移行

## 令和2年度 ～ 令和6年度 事故統計

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
年間事故件数	14	件	17	件	14	件	27	件	14	件
※第1当事者有責事故	3	件	3	件	3	件	10	件	5	件

※当社が第1当事者となり、損害を与えた有責事故

## 内部監査の実施

経営トップ自ら全社的な安全向上のための取り組みを主導し、社内の安全に関わる情報を継続的に経営に反映させながら、企業の安全意識の向上を図ることを目的としており、内部監査は安全管理の取り組みが適正且つ有効に行われているかを確認、課題や問題点を経営者に上申する中で、その後の安全重点施策に対する進捗状況、また目標達成に向けた取り組みがきちんと行われているか PDCA サイクルを通じ内部監査で検証

### 【6年度重点施策】

1. 6年4月より労働基準時間の改定に伴い、拘束時間、休息時間を厳守する事
  - ・結果上限 15 時間超えはゴールデンウィーク、お盆などの混雑時に 8 件発生しているが、これらは週一回のみとなっている。
2. 勤務発表が従来より、運行2日前と直近なことから計画を立てにくい
  - ・従来希望休取得は出来たが、6年度より新たに各月の指定公休制を導入し休日の予定を立てやすい様改善した。

### 【7年度重点施策】

- ①6年度は事故が 14 件発生しており、事故減少防止策を講じること
- ②ハンドル時間、連続走行時間超過の削減

経営トップとの安全投資計画についての面談では、一般貸切事業者として安全を第一と考え近年多発している健康起因事故抑制のための施策の強化及び初任運転者の教育時間の拡充を行うよう指示があった